

# 平成22年3月期 決算説明会

平成22年5月18日



株式会社 **DTS**

<http://www.dts.co.jp/>

# 目次

1. 平成22年3月期 実績
2. 中期総合計画（平成22年4月～平成25年3月）
3. 平成23年3月期 見通し

## 本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

# 1. 平成22年3月期 実績

## 業績実績(単体)

(単位：百万円、%)	金額	売上比	前年同期比	業績予想比 2/19
売上高	33,939	—	88.5%	99.8%
売上総利益	3,969	11.7%	65.4%	104.5%
営業利益	929	2.7%	34.1%	127.3%
経常利益	1,183	3.5%	39.6%	120.8%
当期純利益	683	2.0%	43.7%	117.9%

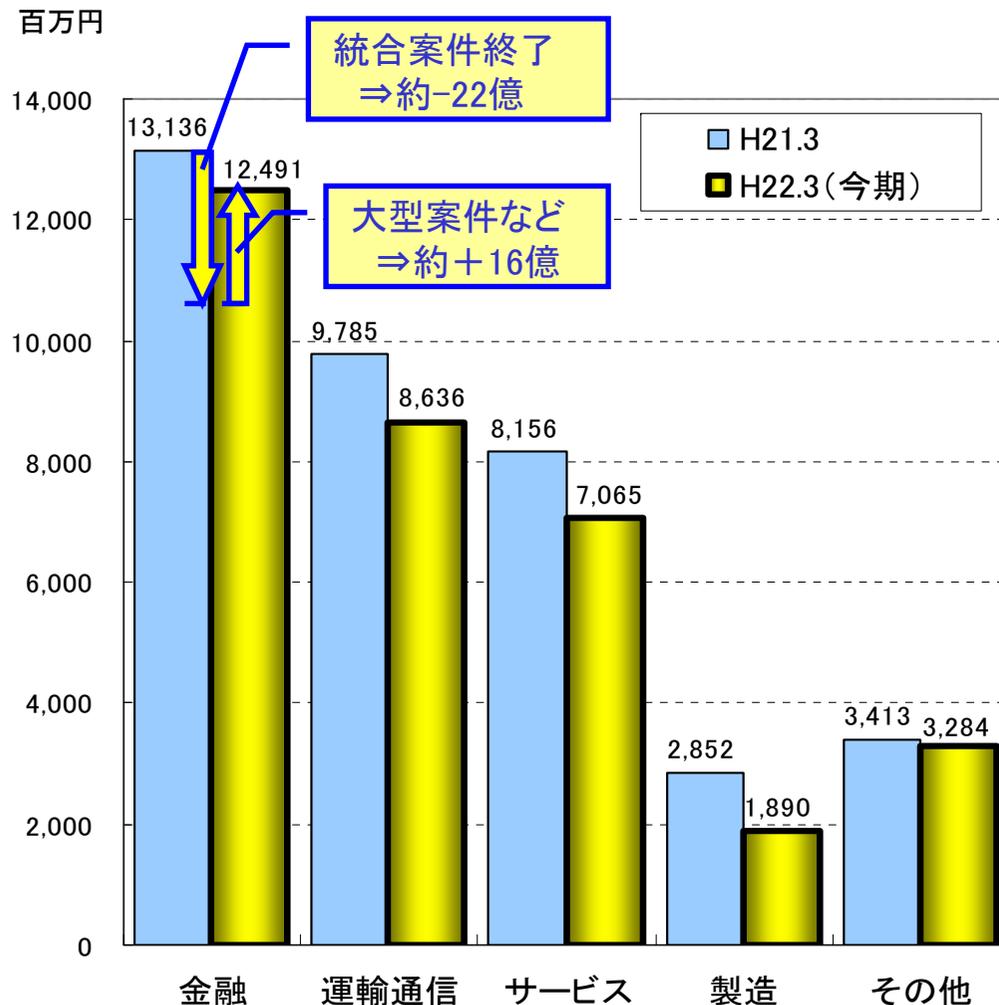
# 売上高・品目別（単体）

統合案件の終了、景気悪化に伴うシステム投資減少により  
システム・オペレーションともに減少するも、ほぼ計画どおりに推移

(単位：百万円、%)		金額	売上比	前年同期比	業績予想比 2/19
		情報サービス	33,365	98.3%	89.4%
	システム	22,880	67.4%	90.3%	99.9%
	オペレーション	10,485	30.9%	87.4%	100.8%
	プロダクト	573	1.7%	57.5%	82.0%
	売上高 計	33,939	100.0%	88.5%	99.8%

# 売上高・エンドユーザ業種別 (単体: 情報サービス)

金融業向けは大型案件の伸長により改善  
公共向けは好調



## 金融業 (前年同期比 95.1%)

- ・前年同期の統合案件終了が大きく影響
- ・金融業向け大型案件は大きく伸張し、統合案件終了の影響を除くと前期比増加

## 運輸通信業 (前年同期比 88.3%)

- ・一部キャリア向け案件及び運輸向け減少
- ・次世代通信網案件は好調

## サービス業 (前年同期比 86.6%)

- ・昨年度下期以降の投資抑制の影響で減少

## 製造業 (前年同期比 66.3%)

- ・特定顧客向け案件が減少

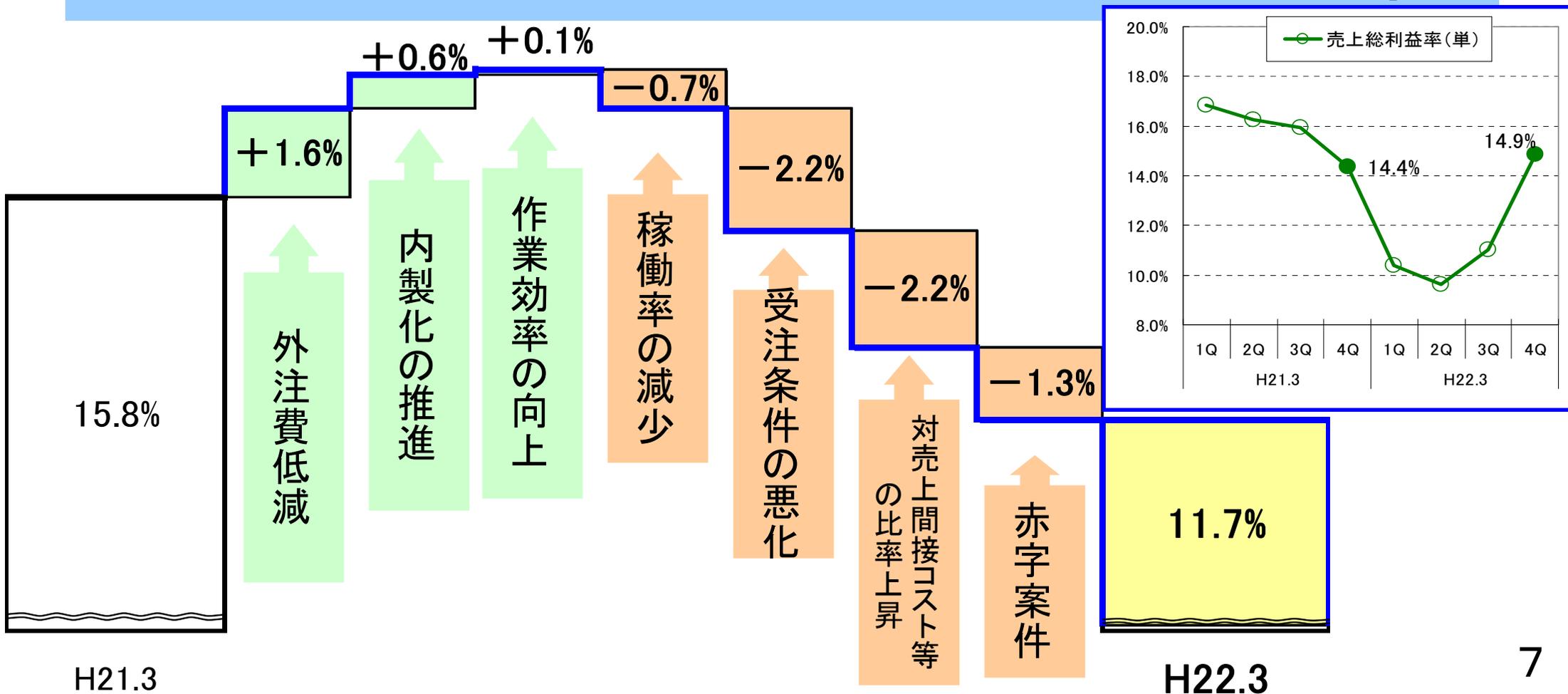
## その他 (前年同期比 96.2%)

- ・公共向けは前年同期比105.7%

# 売上総利益 (単体)

①受注条件の悪化、②対売上間接コスト等の比率上昇、③赤字案件等により売上総利益率減少するも、4Q以降改善へ。

売上総利益 3,969百万円 (前年同期比65.4%、売上比11.7% (前年同期比-4.1pt))



# 営業利益、経常利益 (単体)

経費削減により販管費は大きく減少  
戦略費用の活用は計画どおり実施

販管費 3,040百万円 (前年同期比91.1%、売上比9.0%(前年同期比+0.3pt))

経費削減の取組みによる減少等	-334百万円
戦略費用の増加(新規ビジネス等)	+37百万円

営業利益 929百万円 (前年同期比34.1%、売上比2.7%(前年同期比-4.4pt))

営業外損益 254百万円 (前年同期比98.2%、売上比0.8%(前年同期比+0.1pt))

経常利益 1,183百万円 (前年同期比39.6%、売上比3.5%(前年同期比-4.3pt))

当期純利益 683百万円 (前年同期比43.7%、売上比 2.0%(前年同期比-2.1pt))

## 業績実績(連結)

(単位：百万円、%)

	金額	売上比	前年同期比	業績予想比 2/19
売上高	52,503	-	87.5%	101.0%
売上総利益	6,735	12.8%	69.7%	103.6%
営業利益	1,170	2.2%	33.6%	136.1%
経常利益	1,364	2.6%	38.0%	128.7%
当期純利益	278	0.5%	18.4%	278.3%

・販管費 5,564百万円(前年同期比90.0%、売上比10.6%)

・特別損失 314百万円(2Q時：内部取引における過年度未実現利益修正 他)

## 業績実績(グループ各社)

(単位：百万円、%)

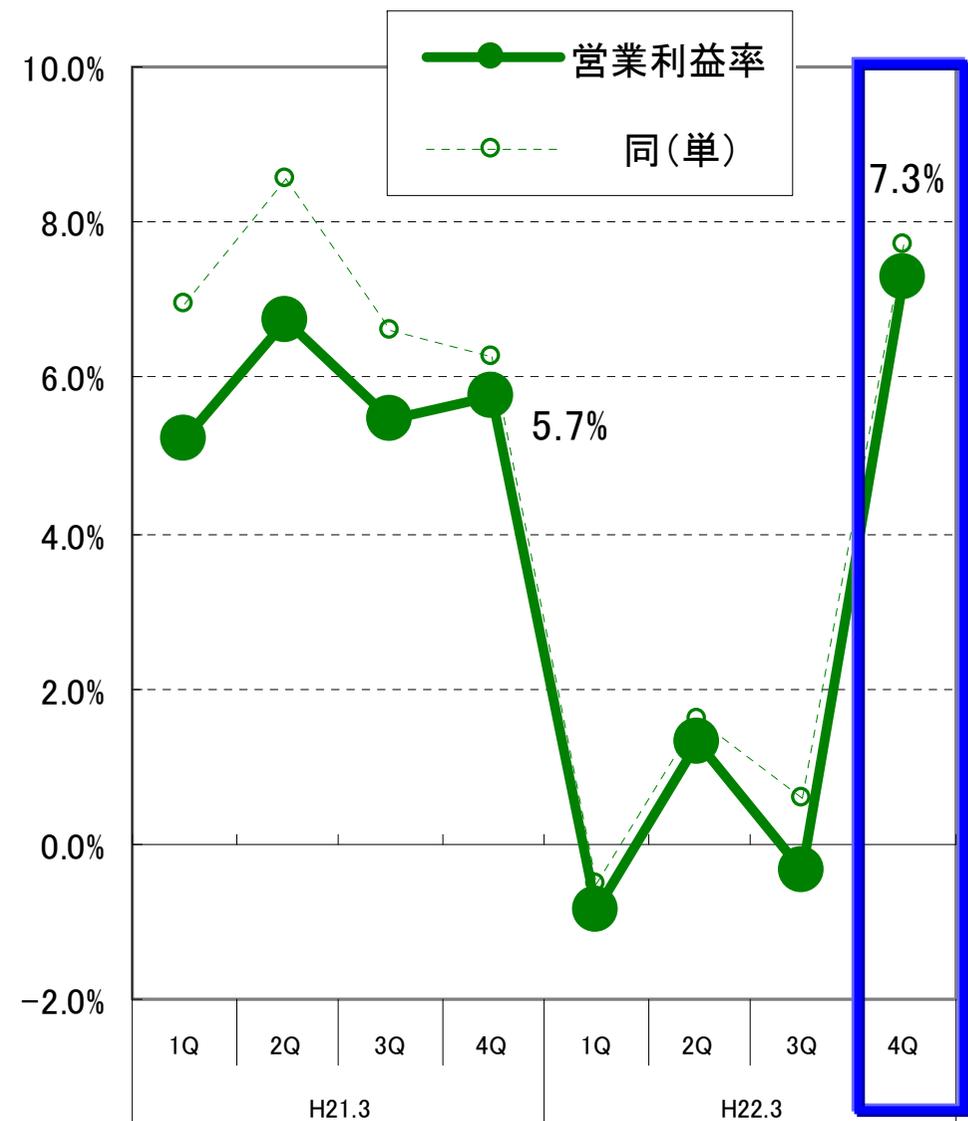
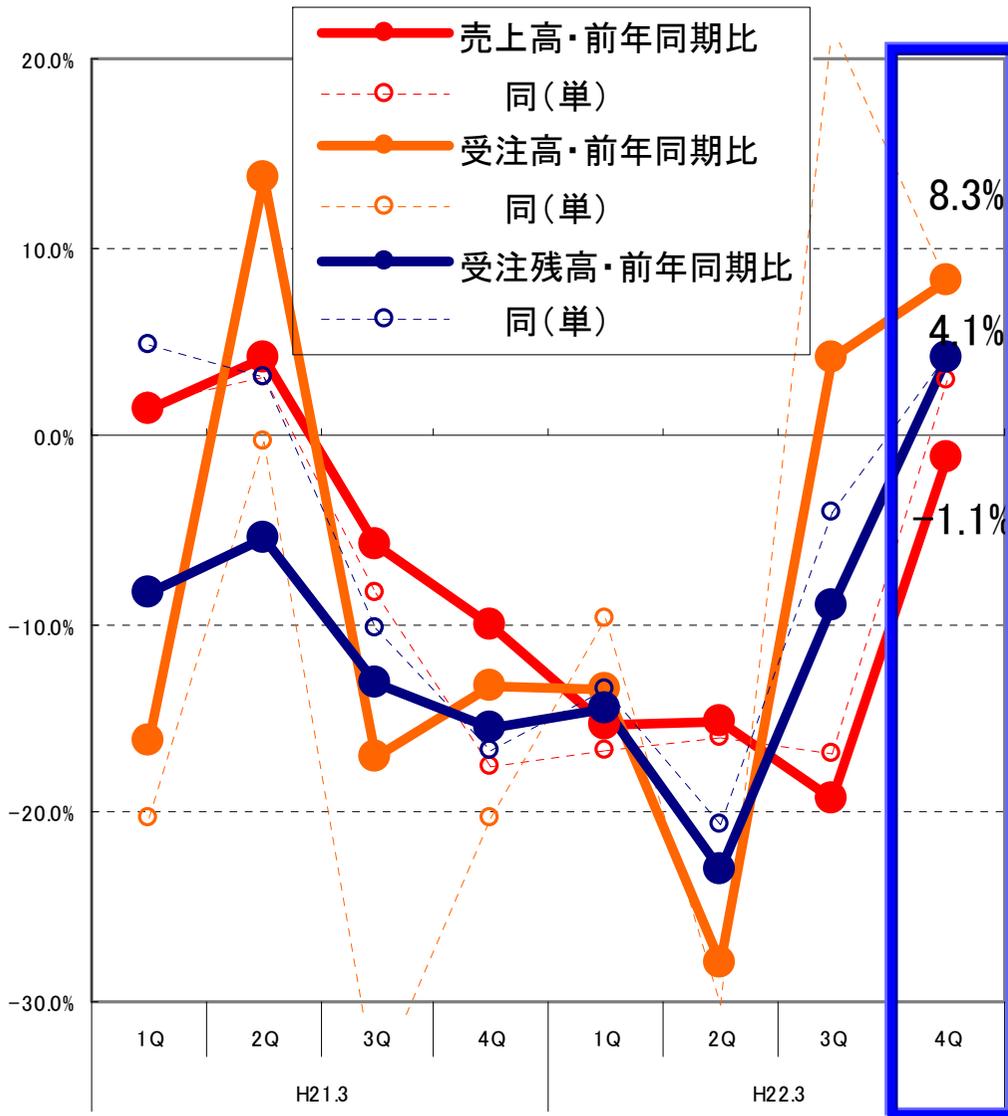
社名	売上高		営業利益		
	金額	前年 同期比	金額	売上比	前年 同期比
データリンクス	8,757	98.4%	323	3.7%	82.7%
日本SE	5,062	83.7%	-244	-4.8%	[-111]
			のれん除く210	4.2%	65.3%
FAITEC	4,636	83.7%	391	8.4%	67.4%
総合システムサービス	1,033	73.3%	-8	-0.9%	[-170]
九州DTS	1,026	86.0%	36	3.6%	73.4%
デジタルテクノロジー *1ヶ月のみ	649	-	65	10.0%	-
MIRUCA	399	101.5%	30	7.7%	38.8%
アスタリクス	98	138.9%	-21	-22.1%	[+ 33]

各社単体の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。

[]は、当期金額－前期金額

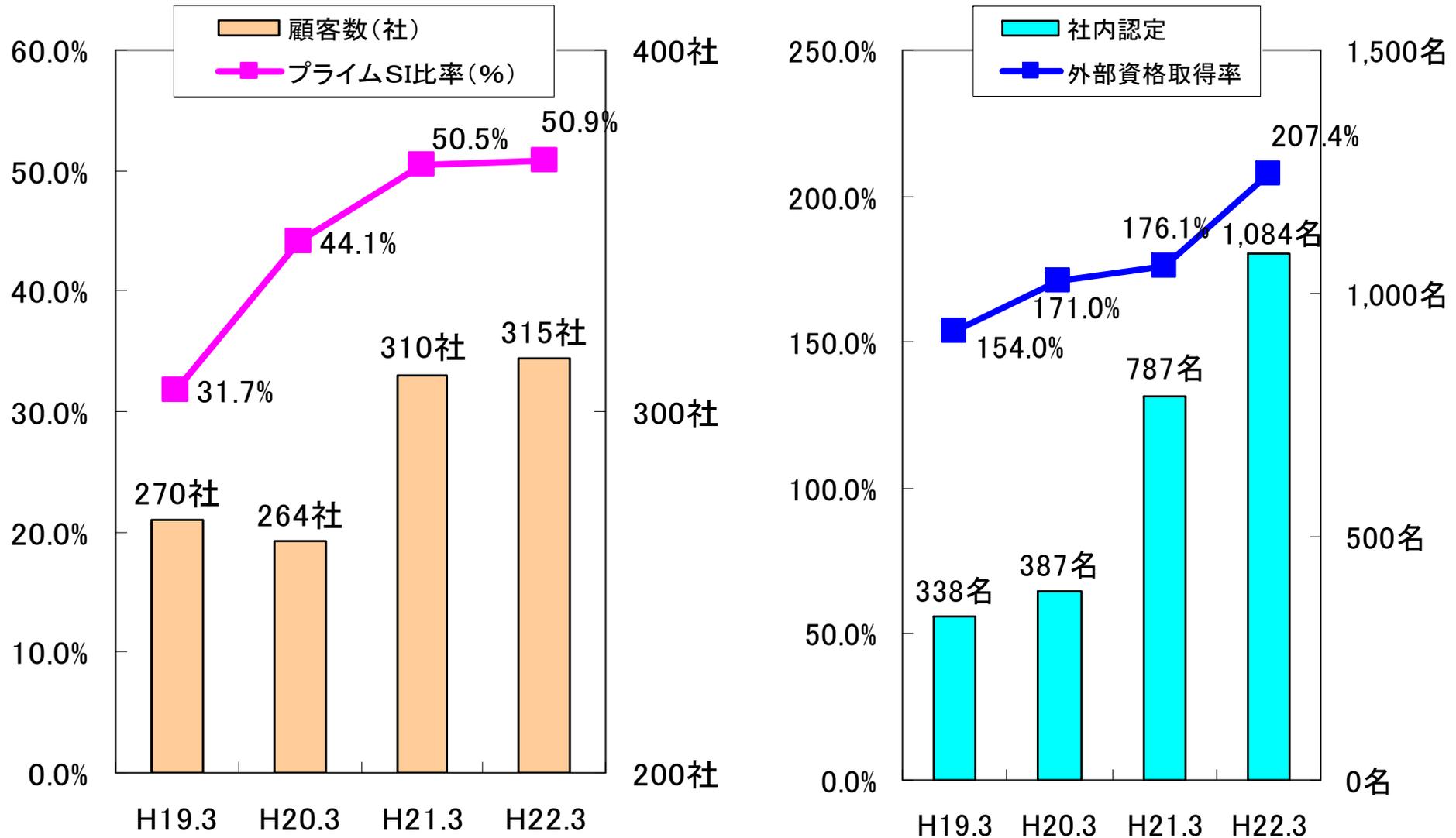
# 参考)業績・四半期推移

4Qより売上高、利益率ともに回復



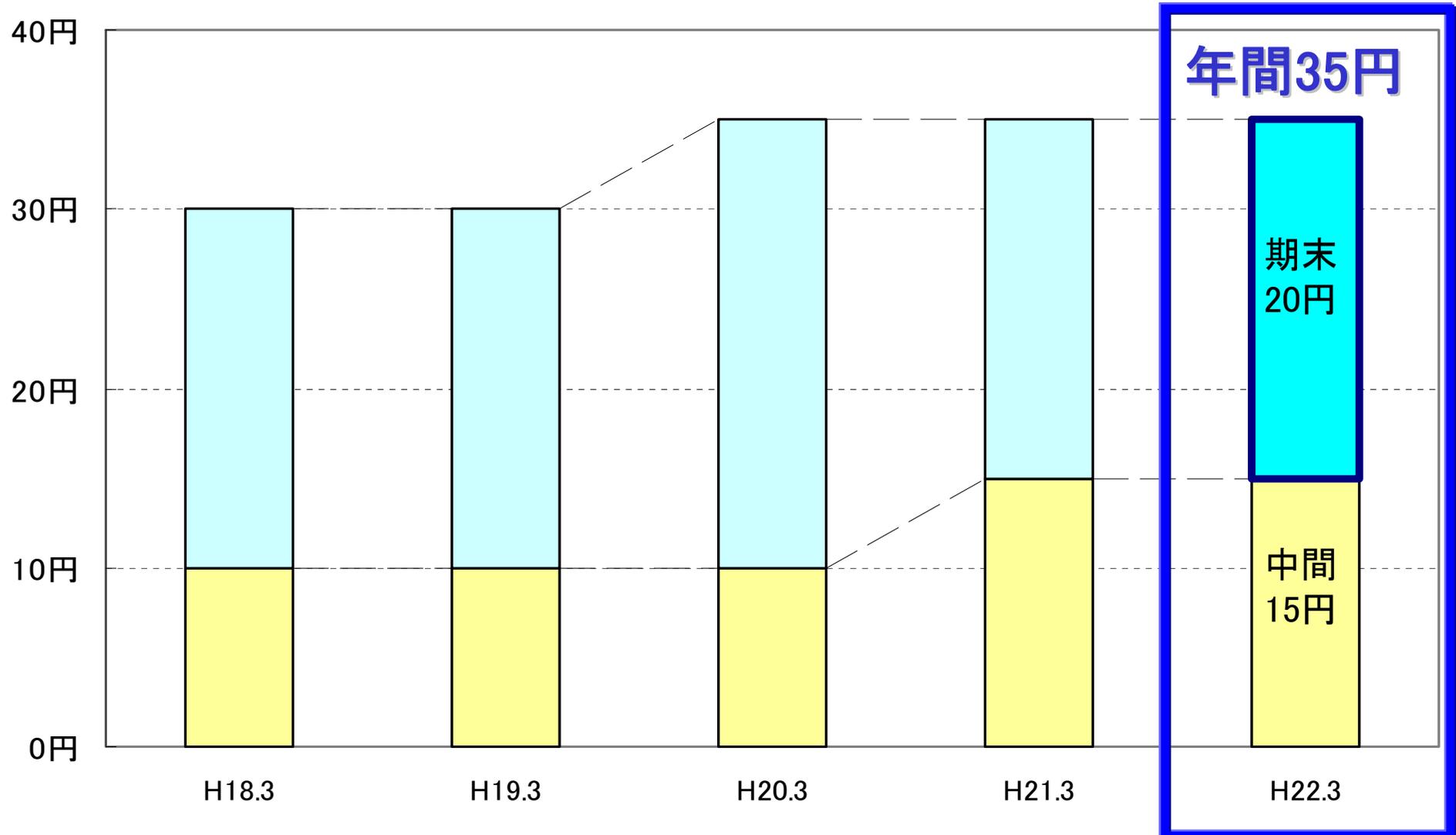
# 成長に向けた取組み

## プライムSI受注の定着、着実な人材の成長



# 配当額

配当額は、前期同額の年間35円



\* H19.10に株式分割(1:2)実施、過去分は分割遡及後の配当額。

## 2. 中期総合計画

(平成22年4月～平成25年3月)

# 当社グループを取り巻く事業環境

経済の低成長  
慎重なIT投資

業界構造変化  
(合従連衡、  
オフショア等)

新技術  
新サービス  
(クラウド等)

前中期計画の  
振り返り

- 顧客の投資意識の変化

- 戦略投資意識の高まり
- オフショアシフト(コスト低減)
- グローバル化への対応
- IT資産の外部化  
(所有から利用)

事業環境の変化に  
対応した  
新中期経営を開始

- CMMIレベル3の達成

- 人材の成長

- 社内資格・外部資格取得者増

- ITインフラ構築力の増強

- デジタルテクノロジー社との協業

- 大規模案件での開発実績

(課題:一部案件で不採算発生)

# 本中期総合計画の概要

## 中期経営ビジョン『バリュー・ソリューション・プロバイダー』

- 顧客・当社双方がメリットを享受できる関係の構築
- 付加価値の高いサービスの効率的な提供
- 企画・提案型事業の強化

プロジェクトマネジメント強化  
BPとの協業強化

SI力強化

アライアンス  
積極化

サービスの拡充  
サービスの価値増大

事業ポートフォリオ  
最適化  
企画・提案型事業強化  
営業力強化

人材のさらなる育成  
情報システムの刷新

経営インフラ  
強化

グループ  
総合力強化

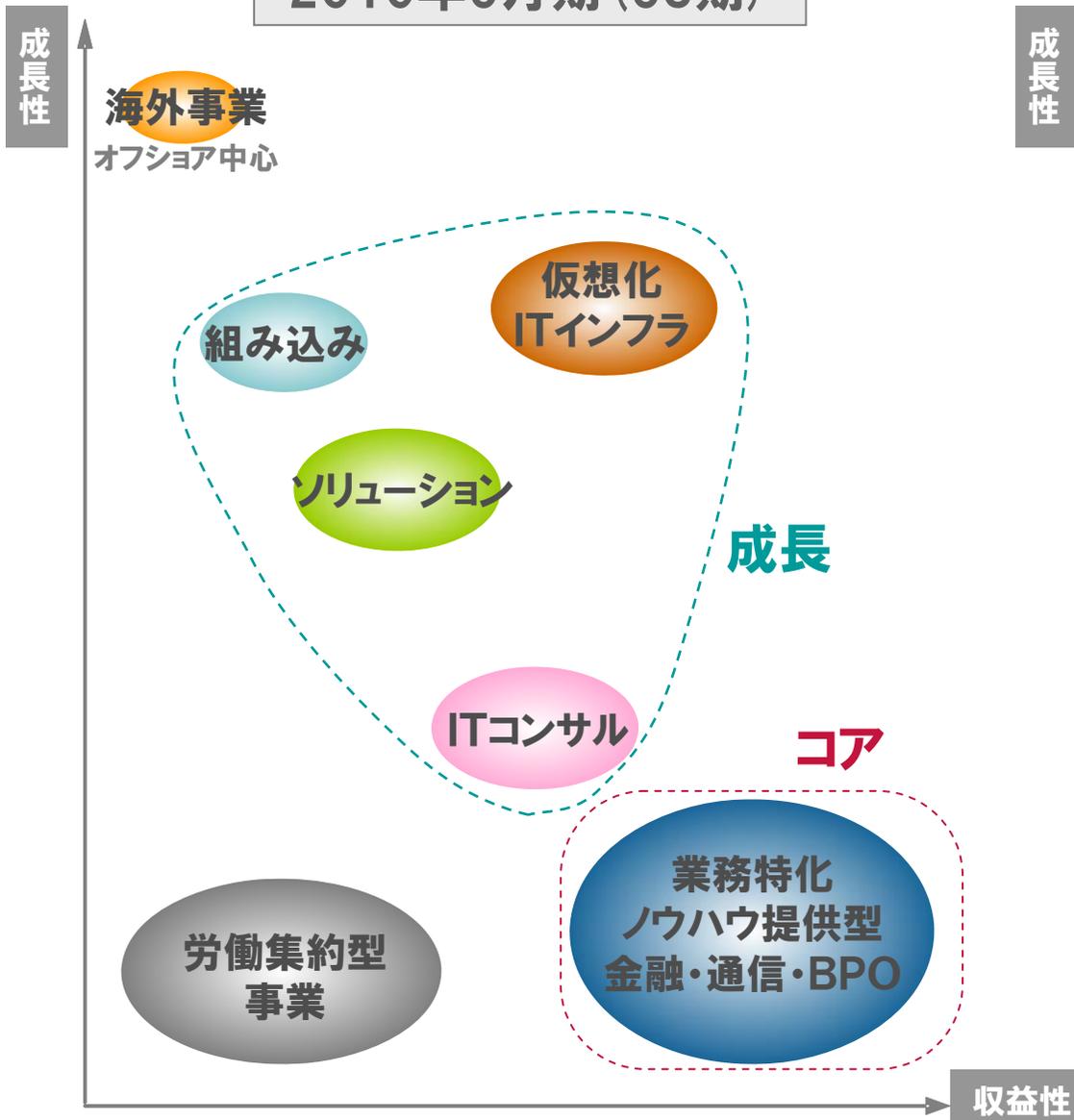
グループ間連携強化  
さらなるシナジーの創出

# 事業ポートフォリオ最適化（選択と集中）

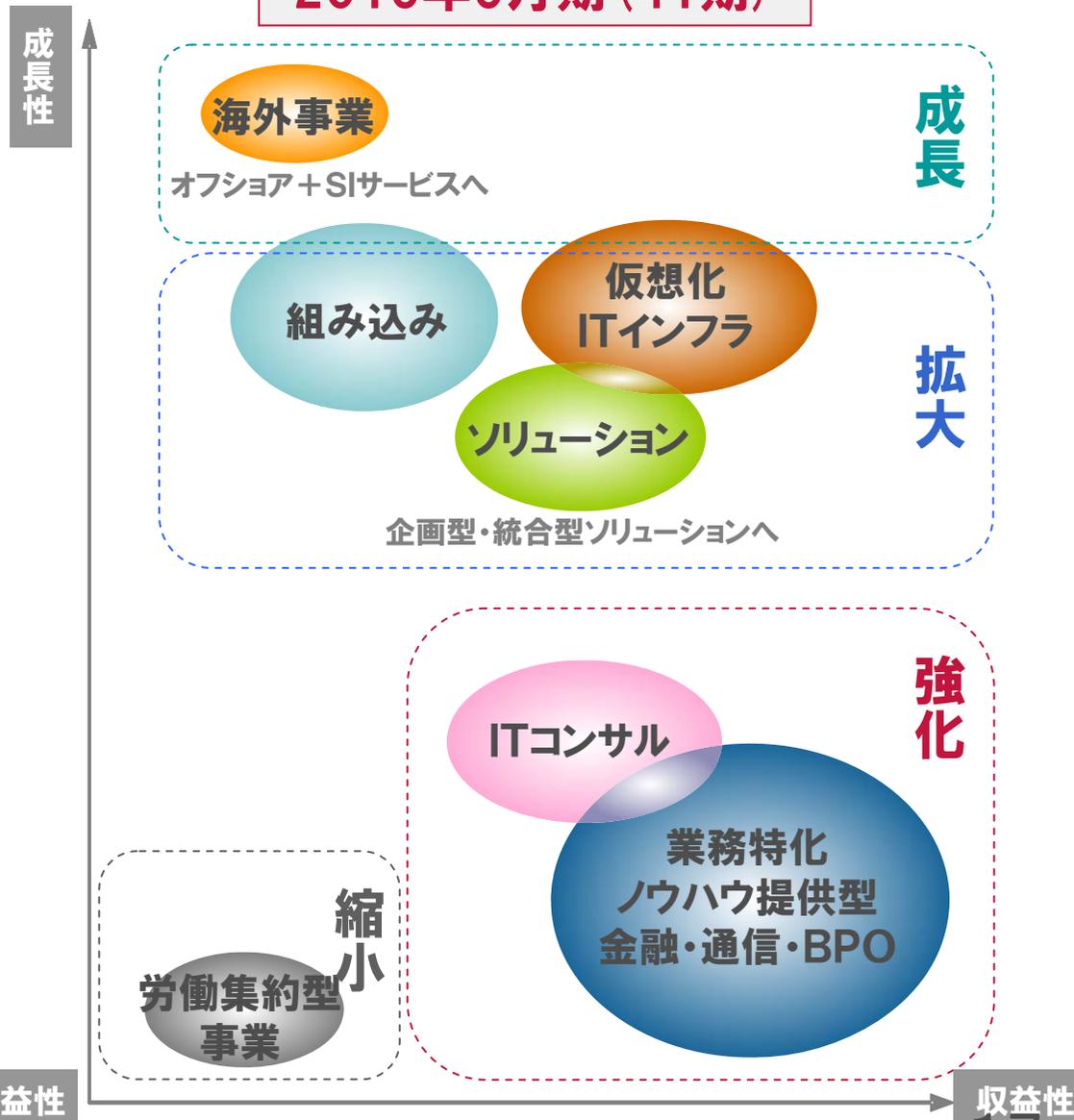


➤ 成長分野・高付加価値分野への経営資源の段階的シフトを行う。

2010年3月期（38期）



2013年3月期（41期）





## 組み込み

将来的な当社の柱の一つに育成する。

関西・関東・中京で強化し、デジタル家電や携帯・スマートフォン分野のみならず、医療・環境・自動車分野での拡大を図る。

## 通信向け

**独立系トップクラスを目指す。**

強みである業務系ノウハウや制御系技術を活用して、さらなるシェア拡大を図る。  
(ホームICT/OSGiの強化)

## 金融向け

銀行・生命保険を中心にクレジットカード・損保・証券でもシェアを拡大する。

## 企画型ソリューション

企画型事業を強化する。

### ・パッケージ

⇒さらなる機能拡充・クラウド化・海外展開  
ハウジング (WIH)  
BI (DaTaStudio@WEB)  
グループウェア (Bizca)

### ・グローバル展開

⇒顧客の中国進出支援

## IT コンサル

•経営・業務課題の解決に向けたIT活用のコンサルティング

## IT インフラ

•ReSM (遠隔監視) サービス強化  
•ハイブリッドクラウド対応

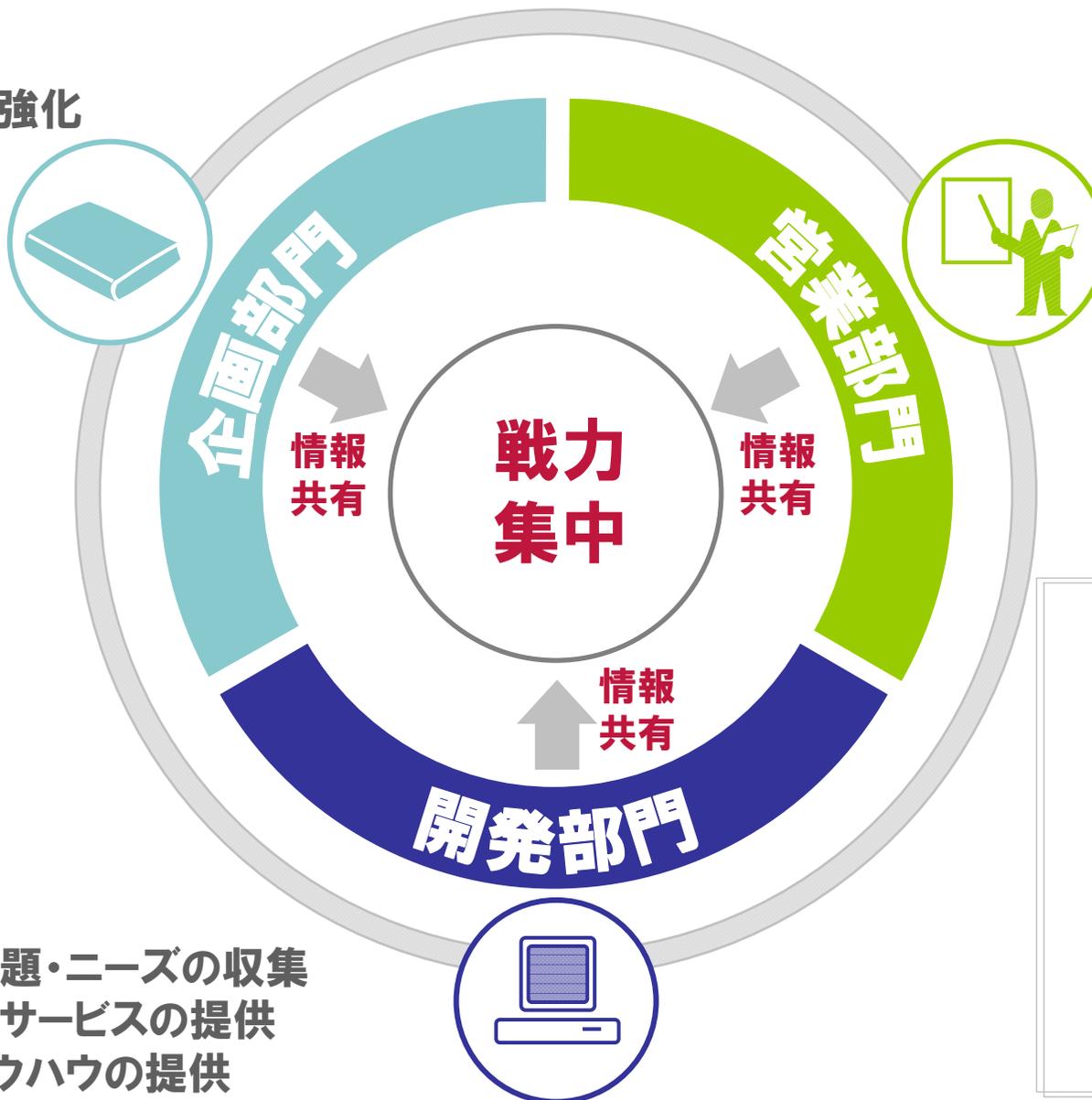
## BPO

•ITアウトソーシング (例. サービスデスク等)  
•業務アウトソーシング (例. 年金業務)



## ▶ 製販一体型組織により、サービス品質・顧客満足度向上を図る。

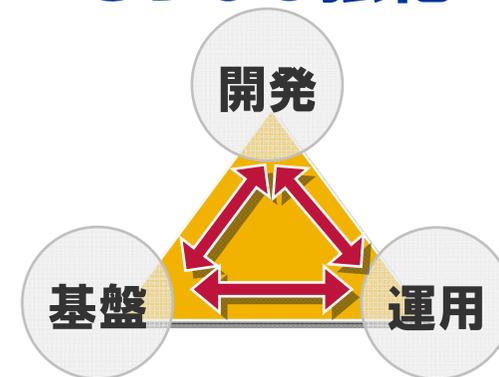
- 戦略的マーケティング強化
- ITソリューション企画



- アカウントプラン策定徹底
- 提案力向上
- 顧客志向の徹底

- 顧客課題・ニーズの収集
- 高品質サービスの提供
- 業務ノウハウの提供

## ▶ 本部間連携のさらなる強化





## ➤ 中国での事業拡大を中心に、グローバル展開を本格化する。

### 《中国での事業拡大》

#### オフショア開発体制の強化

- 中国における体制を増強
  - 現地採用開始
  - 内陸部への展開

#### 中国市場でのSIサービス提供

- 日系企業（金融業、流通小売業）向けサービス
  - コンサルティング、開発、BPO
  - 業務アライアンス
- 中国企業向けサービス

#### グローバル人材育成の強化

- 海外企業へのトレーニー派遣
- 当社海外拠点駐在員の増員
- 語学・コミュニケーション研修の充実



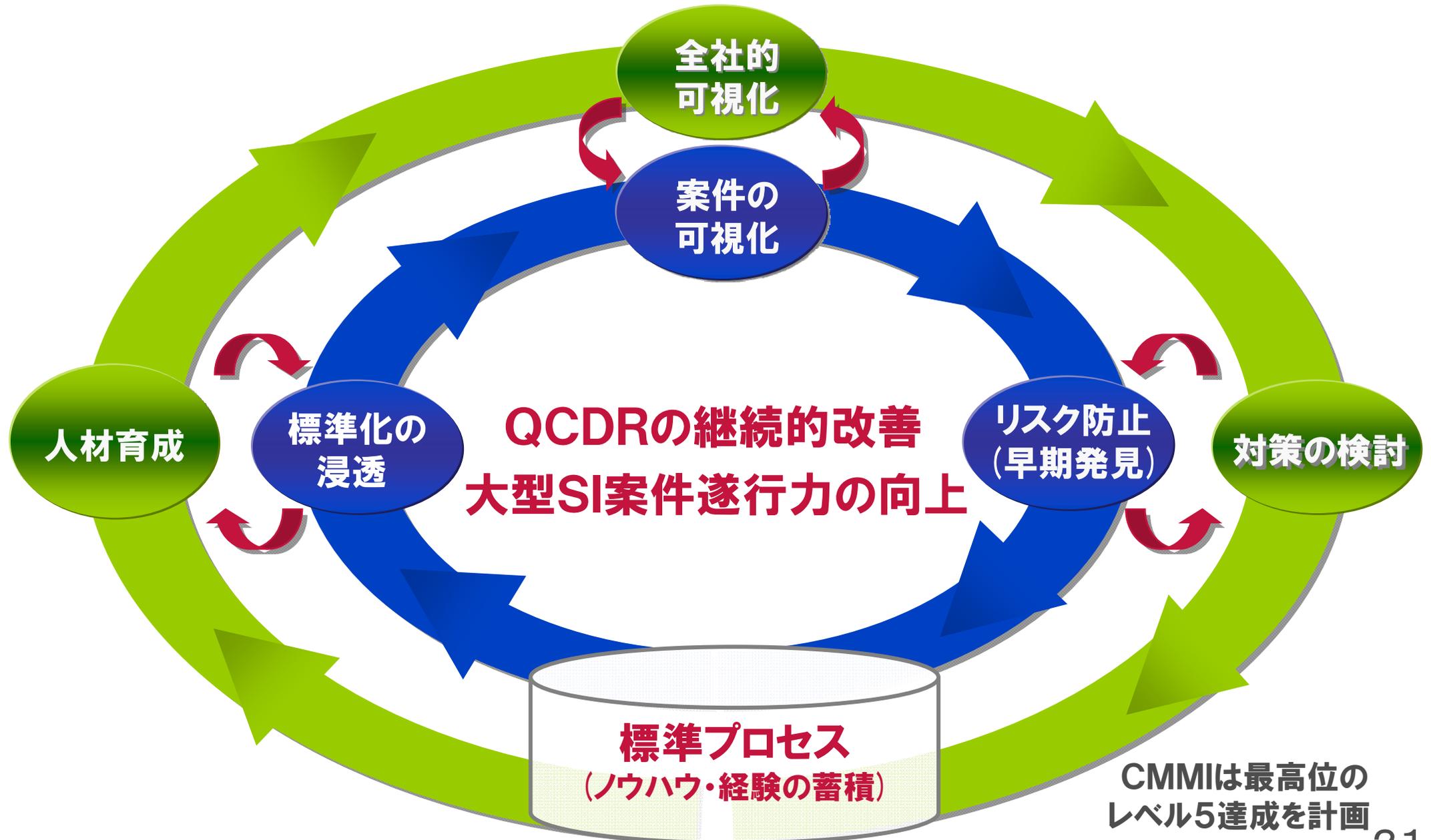
### 《他地域での展開》

#### 東アジアでの拠点整備

- オフショア開発推進（ベトナム等）
- 日系企業向けサービス提供

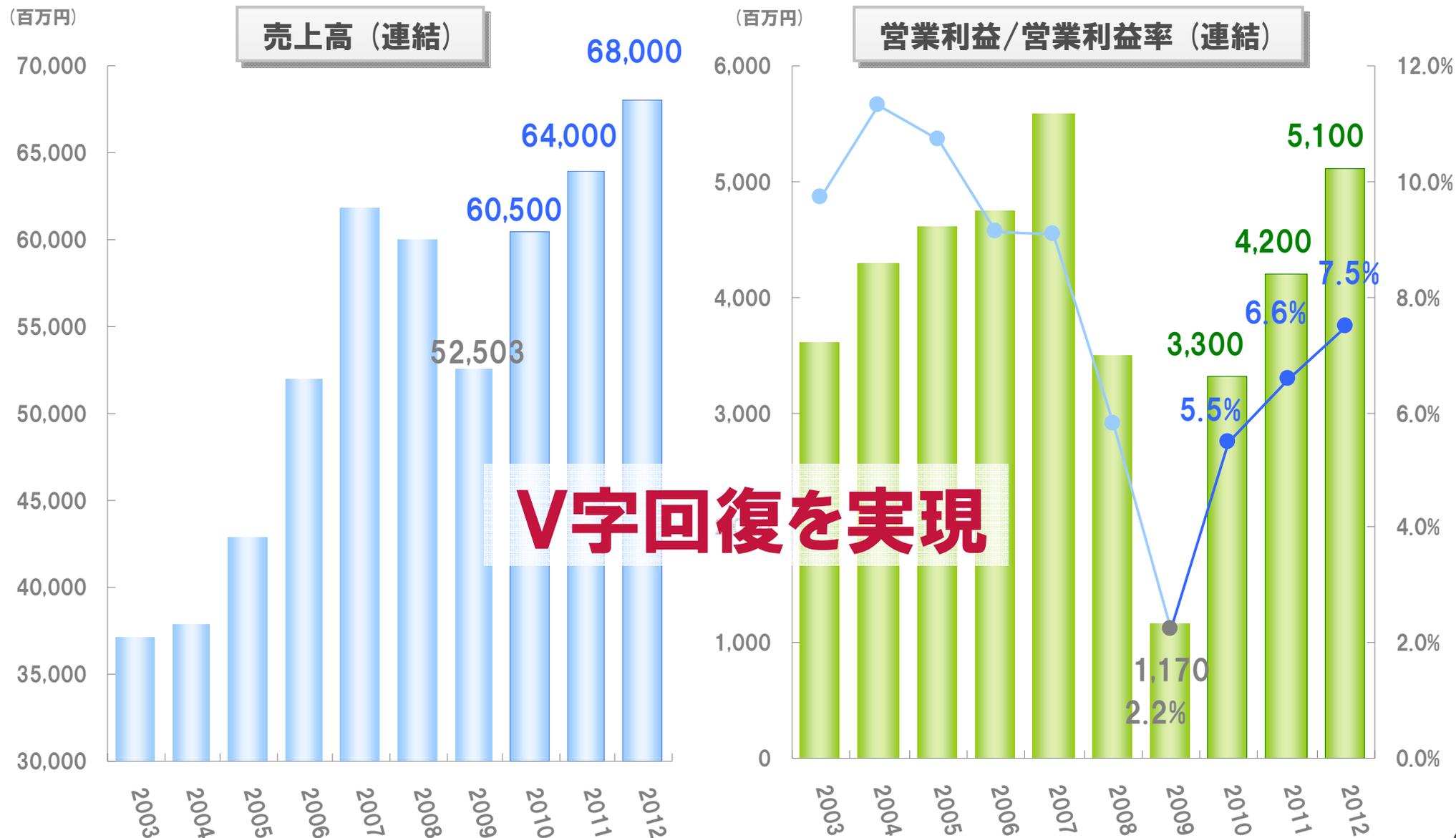


➤ マネジメント力強化により、大規模SI案件のさらなる拡大を図る。



# 経営目標

- 本中期総合計画では700億円規模を目指す。
- 将来的に1000億円プレイヤーとなるための経営基盤を確立する。



# 3. 平成23年3月期 見通し

# 通期計画(単体・連結)

## 単体

## 連結

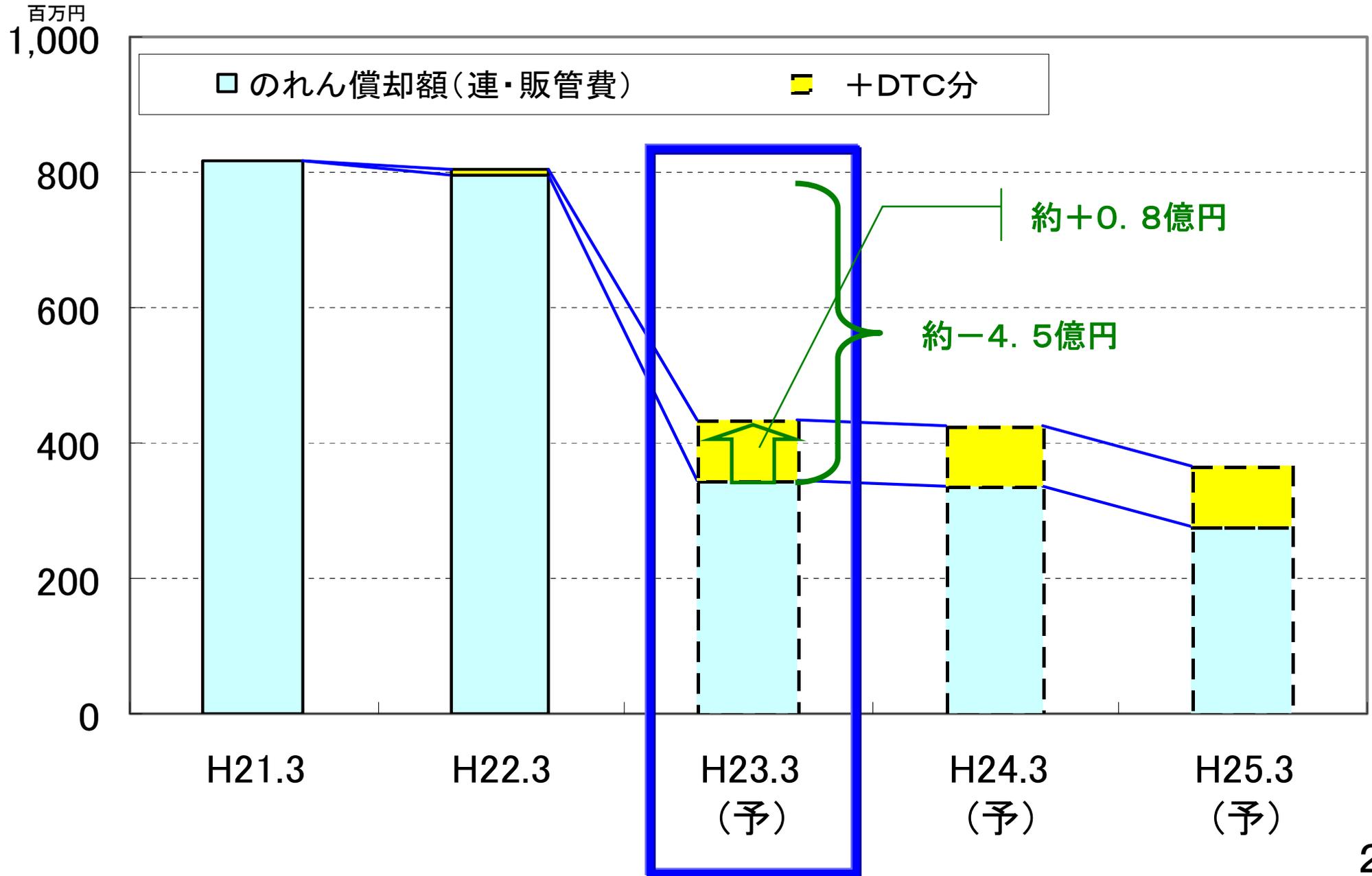
(単位：百万円、%)

	金額	売上比	前年 同期比	金額	売上比	前年 同期比	連単 倍率
売上高	36,000	—	106.1%	60,500	—	115.2%	1.68倍
売上総利益	5,500	15.3%	138.5%	9,500	15.7%	141.0%	1.73倍
営業利益	2,300	6.4%	247.5%	3,300	5.5%	282.0%	1.43倍
経常利益	2,450	6.8%	207.0%	3,400	5.6%	249.1%	1.39倍
当期純利益	1,400	3.9%	204.7%	2,200	3.6%	790.6%	1.57倍

連・販管費 6,200百万円(前年同期比111.4%、売上比10.2%(前年同期比-0.4pt))

※内、のれん償却額 432百万円(※次頁参照)

# 参考)のれん償却額の推移



# 通期計画(グループ各社)

(単位：百万円、%)

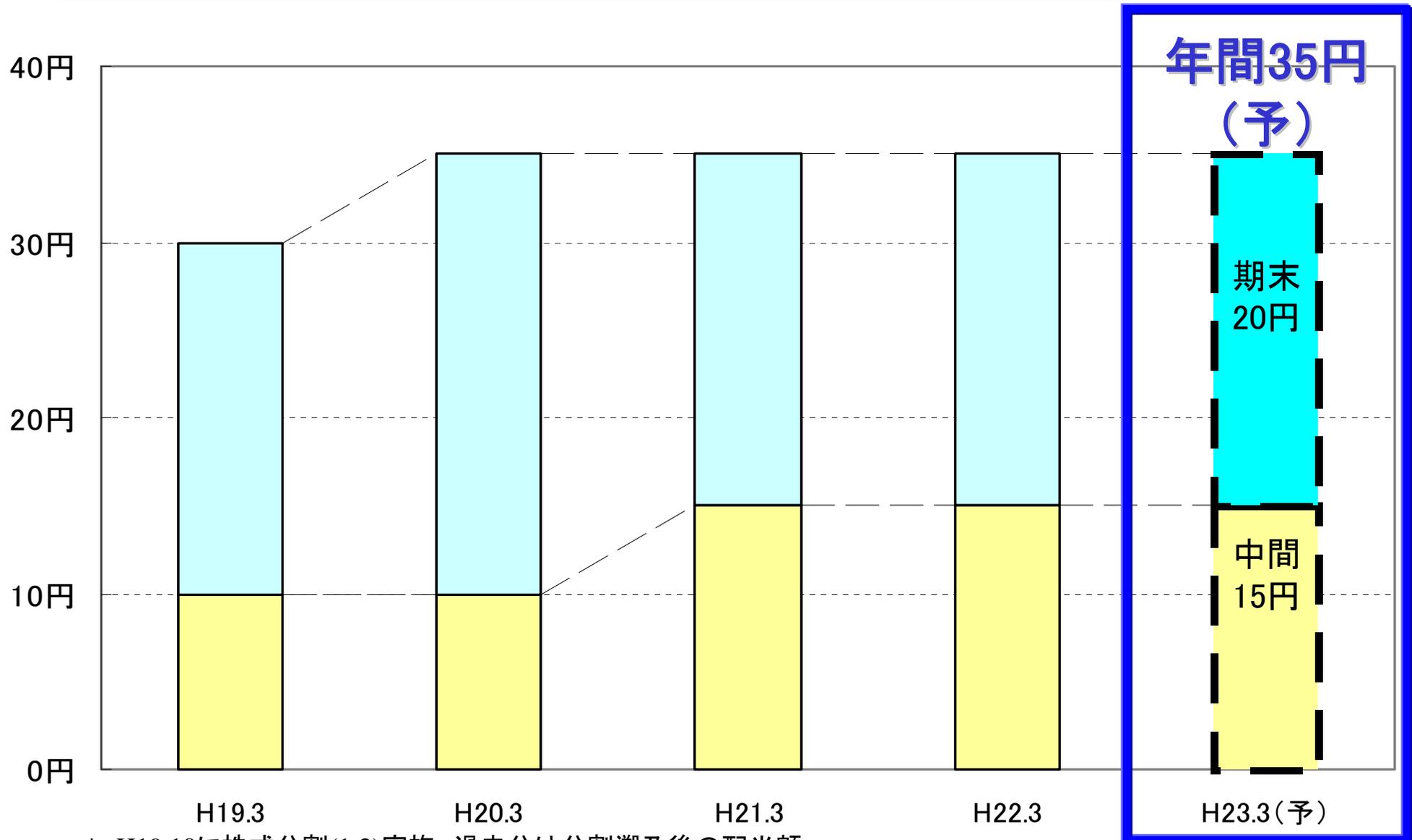
社名	売上高		営業利益		
	金額	前年 同期比	金額	売上比	前年 同期比
データリンクス	8,000	91.4%	201	2.5%	62.4%
デジタルテクノロジー ※前期は1ヶ月のみ連結	6,640	—	117	1.8%	—
日本SE	4,913	97.0%	346	7.1%	[+590]
FAITEC	4,900	105.7%	400	8.2%	102.3%
総合システムサービス	1,300	125.7%	97	7.5%	[+106]
九州DTS	1,100	107.2%	50	4.5%	136.9%
MIRUCA	408	102.1%	11	2.7%	35.7%
アスタリクス	150	153.2%	2	1.9%	[+24]

各社単体の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。

[ ]は、当期金額－前期金額

# 配当計画

配当額は、前期同額の年間35円を計画



\* H19.10に株式分割(1:2)実施、過去分は分割遡及後の配当額。

# 平成22年3月期 決算説明会

ご清聴ありがとうございました



株式会社 **DTS**

<http://www.dts.co.jp/>